

女子大学生が研究目的による体力測定参加への 同意・不同意の判断において重要視する内容

村瀬智彦*, 春日晃章**

Important factors when deciding whether to participate in a physical fitness test for research in female undergraduate students

Tomohiko Murase* and Kosho Kasuga**

Abstract

The purpose of this study was to determine the important factors when deciding the participation or non-participation in a physical fitness test conducted for research in female undergraduate students. Two hundred eighty-five female undergraduate students aged 18 to 21 years filled out a questionnaire consisting of 22 items related to the informed consent statement used in research for human subjects. The results in this study suggested that factors concerning safety, emergency medical treatment, test items and degree of load in measurement, foreseen risk, and confidentiality in data storage (ranked 'B') were considered to be important when deciding the participation in a physical fitness test in female undergraduate students.

Key words: informed consent, data collection, physical fitness test for research, important factors, female undergraduate students

緒 言

ヒトを対象として研究目的による体力・運動能力データを収集する場合、文書などにより研究概要や関連事項について十分な説明を行ない、測定参加についての同意を得る必要がある。近年、このような手続きは厳格化されつつある。しかし、同意・不同意を求める際の手続きが不十分な場合、つまり、同意・不同意を判断する際に重要と考えられる内容の説明が不足している場合やその内容に関して十分な配慮がなされていない場合、この手続きが標本抽出に影響を及ぼす可能性が無いとは言えない¹⁾。

説明と同意の手続きの過程では、判断する人に関係する要因や説明内容に関係する要因が関与すると考えられる^{3, 5)}。判断する人に関しては、考え方や体力データ特性と研究目的による体力測定参加に対する同意判断との関係が示されている²⁾。一方、説明内容に関しては、研究目的による体力測定参加への同意・不同意の判断に重要視される内容と程度が、幼児の保護

者⁴⁾や男子大学生⁶⁾を対象に報告されている。女子大学生に関しては、研究目的による体力測定参加の同意・不同意の判断に重要視される程度が自覚する体力特性の違いにより異なる項目⁷⁾が明らかにされているが、同意・不同意の判断の際に重要視される内容とその重要度に関する検討には重点が置かれていなかった。

本研究の目的は、研究目的による体力測定参加への同意・不同意の判断の際に重要視される内容とその重要度について、女子大学生を対象に明らかにすることであった。

このような資料は、女子大学生を対象に研究目的による体力測定の参加者を募集する際の研究計画の立案や同意を求める文書の作成に役立つと考えられる。

方 法

1. 対象

対象は18歳から21歳の女子大学生285名であった（年齢：18.8±0.54歳）。

* 愛知大学名古屋体育研究室

** 岐阜大学教育学部（元愛知大学非常勤講師）

2. 調査項目

調査項目は、研究目的により身体データなどを収集する際に説明と同意を求める一般的な文書に含まれる内容を参考に22項目（研究担当者、研究の必要性、研究の独創性、測定項目、測定時間、測定期間、測定の負担度、測定の難易度、安全性、緊急時の対処方法、危険要因、測定参加による利益恩恵、謝金の有無、謝金の金額、測定時のデータ管理法、保管時のデータ管理法、本人の運動能力、本人の運動の好き嫌い、家族などの希望、友人の参加状況、関係者の同意、関係者の推薦）を選択した。

3. データ分析

調査は質問紙により実施し、各質問内容についての重要性を「非常に重要である（5点）」から「全く重要でない（1点）」の5段階で回

答した。データ分析では5段階の回答を数値化し質問項目ごとに平均値を算出し、重要度を0.5点間隔でランク付けした。

結 果

1. 平均値と標準偏差およびランク

22項目の平均値と標準偏差およびランクは表1に示す通りである。幼児の保護者⁴⁾と男子大学生⁵⁾を対象に調査した先行研究と同様に、各調査項目における平均値をA(4.5以上)、B(4.0以上4.5未満)、C(3.5以上4.0未満)、D(3.0以上3.5未満)、E(2.5以上3.0未満)、F(2.0以上2.5未満)、G(2.0未満)でランク付けした。ランクがA、F、Gに相当する項目は認められなかった。

Bにランク付けされた項目は、測定項目、測

Table 1 Descriptive statistics and rank

Item in questionnaire	<i>n</i>	<i>Mean</i>	<i>SD</i>	Rank
investigator	285	3.189	1.138	D
necessity of research	285	3.881	0.996	C
originality of research	284	3.077	0.995	D
test item	285	4.305	0.815	B
time required for measurement	285	3.881	0.923	C
period of measurement	284	3.951	0.864	C
degree of load in measurement	283	4.163	0.908	B
easiness or difficulty of measurement	284	3.965	0.893	C
safety	284	4.465	0.781	B
emergency medical treatment	284	4.306	0.898	B
foreseen risk	283	4.198	0.905	B
benefit from participation	281	3.473	1.128	D
presence or absence of compensation	284	3.197	1.217	D
amount of compensation	284	3.190	1.218	D
confidentiality in measurement	284	3.972	1.026	C
confidentiality in data storage	284	4.049	1.018	B
physical fitness and motor performance	284	3.792	0.952	C
preference to exercise	282	3.351	0.955	D
request by family member	282	2.794	0.998	E
participation of friends	283	3.145	1.054	D
agreement by supervisor	283	3.254	1.081	D
recommendation by supervisor	283	3.127	1.034	D

Note) Rank; A \geq 4.5, 4.5 > B \geq 4.0, 4.0 > C \geq 3.5, 3.5 > D \geq 3.0, 3.0 > E \geq 2.5

定の負担度、安全性、緊急時の対処法、危険要因、保管時のデータ管理法の6項目であった。Cにランク付けされた項目は、研究の必要性、測定時間、測定期間、測定の難易度、測定時のデータ管理法、本人の運動能力の6項目であった。図1は、BおよびCにランク付けされた項目を平均値の大きさの順に並べたものである。

Dにランク付けされた項目は、研究担当者、研究の独創性、測定参加による利益恩恵、謝金の有無、謝金の金額、本人の運動の好き嫌い、友人の参加状況、関係者の同意、関係者の推薦の9項目であった。Eにランク付けされたのは家族などの希望の1項目であった。図2は、DおよびEにランク付けされた項目を平均値の大きさの順に並べたものである。

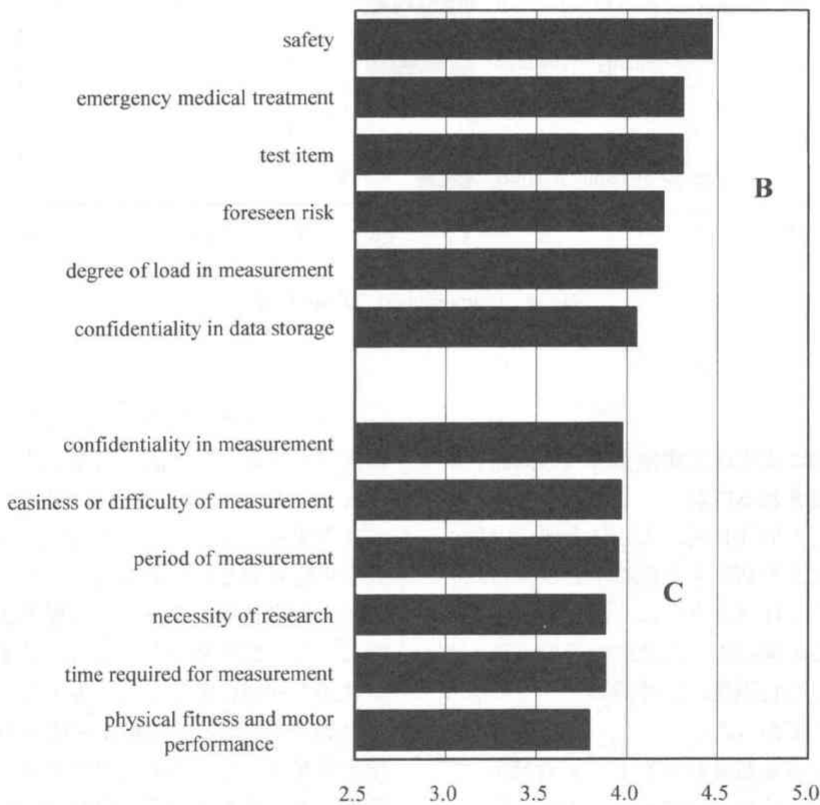


Fig. 1 Items ranked 'B' and 'C'

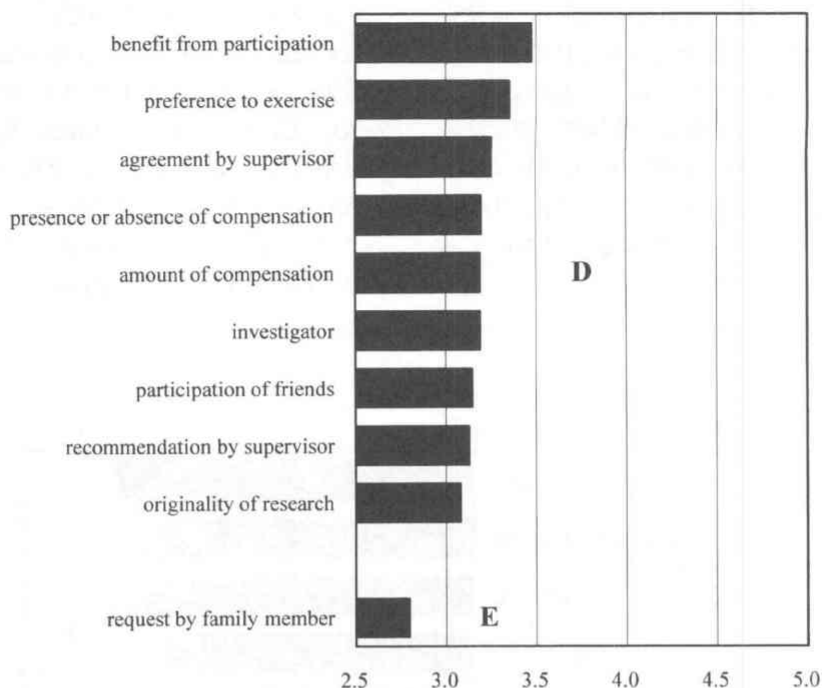


Fig. 2 Items ranked 'D' and 'E'

考 察

1. 研究目的による体力測定参加への同意判断に重要視される内容

女子大学生が研究目的による体力測定参加への同意・不同意を判断する際に重要視する内容の上位(図1; Bランク)は、測定の安全性や可能性のある危険要因、緊急時の対処方法、測定項目や測定の負担度、保管時のデータの管理方法についてであった。

幼児の保護者を対象に調査した先行研究⁴⁾では、測定の安全性などに関する3項目と測定項目と負担度に関する2項目のランクはAまたはBであったが、データの管理方法に関する2項目のランクはC(保管時)およびD(測定時)であった。測定の安全性などに関する内容と測定項目に関する内容は、幼児の保護者と女子大学生に共通して、同意・不同意の判断の際に特に重要視される内容であり、これらの内容については研究計画の段階で十分に配慮し、説明と同意を求める文書に必ず明記すべきである。

一方、データの管理方法に関しては、幼児の保護者を対象とした調査結果と比較すると、女子大学生の場合は、同意・不同意の判断の際により重要視されることが明らかになった。女子大学生を対象として研究目的による体力測定を実施する場合にはデータの管理方法について配慮し十分に説明を行なうことが必要である。

性差の検討に関しては、男子大学生を対象とした調査結果⁶⁾との比較が可能である。男子大学生を対象とした調査結果において、全体的には女子大学生と類似する内容が重要視される傾向が認められた。A～Bランクの項目で異なっていたのは、男子大学生の調査結果では研究の必要性に関する内容が含まれていたことであった。

したがって、女子大学生と幼児の保護者との比較から、安全性や測定項目などに関する内容以外では研究目的による体力測定参加の際に重要視される内容とその程度に差が認められるが、一方、女子大学生と男子大学生との比較で

は重要視される内容とその程度が比較的類似しており男女差が小さいことが明らかになった。

2. 女子大学生対象の体力測定参加者募集の際の留意点

測定の安全性などに関する内容と測定項目に関する内容は、対象の違いによる重要視される程度には差が認められなかった。このことから、他の対象と同様に女子大学生を対象として研究目的による体力測定参加者を募集する際も測定の安全性についての記述を詳細に示し、また測定項目については対象者の負担がより少ない項目を選ぶなど研究計画立案の段階で十分に検討し対象の特性に注意を払うべきである。

女子大学生を対象として研究目的による体力測定を実施する場合、特に注意が必要である点は保管時のデータの管理方法についてであった。説明と同意の手続きで用いる文書に保管時のデータ管理法について明確に示し、参加者の不安を取り除くよう留意する必要があることが示唆された。このような配慮は女子大学生のみならず男子大学生を対象として体力測定参加者を募集する際にも同様に有効であると考えられる。

以上に示した留意点は、女子大学生を対象に研究目的による体力測定の参加者を募集する際の研究計画の立案や同意を求める文書の作成に役立つと考えられる。

要 約

本研究の目的は、研究目的による体力測定参加への同意・不同意の判断の際に重要視される内容とその重要度について、女子大学生を対象に明らかにすることであった。測定の安全性などに関する内容と測定項目に関する内容は、対象に関係なく、同意・不同意の判断の際に重要視される内容であることが明らかになった。特に、女子大学生を対象として研究目的による体力測定を実施する場合にはデータの管理方法について十分に配慮し説明を行なうことが必要であることが示唆された。男子大学生との比較で

は重要視される内容とその程度が比較的類似していることが確認された。本研究の調査結果から導き出された留意点は、女子大学生を対象に研究目的による体力測定の参加者を募集する際の研究計画の立案や同意を求める文書の作成に役立つと考えられる。

一 謝 辞 一

本研究の調査データの入力および整理では、愛知大学経営学部卒業生の箕浦直美さんにご助力・ご協力をいただきました。この場を借りて感謝の意を表します。

文 献

- 1) 村瀬智彦 (2002) : 身体発育発達データの収集とそれに関わる諸問題, 東海体育学会第50回記念大会プログラム・抄録集, p. 9.
- 2) 村瀬智彦, 松岡弘記, 滝沢宏人 (2003) : 研究目的による「説明と同意」の手続きを経た体力データ収集における留意点—体力測定参加者の体力測定に対する所見と体力データ特性との関係から—, 東海保健体育科学, 25(1), 13-22.
- 3) 村瀬智彦 (2005) : 体力・運動能力データ収集における説明と同意における留意点, 第3回日本発育発達学会・第4回日本体育測定評価学会合同学会プログラム, p. 29.
- 4) 村瀬智彦, 春日晃章 (2005) : 幼児の体力・運動能力データ収集における「説明と同意」に関して—保護者が同意する際に重視する内容は何か—, 第3回日本発育発達学会・第4回日本体育測定評価学会合同学会プログラム, p. 49.
- 5) 村瀬智彦 (2006) : データ収集における説明と同意の手続きとその留意点—母集団を反映する適当な標本を得るために—, 日本体育学会第57回大会予稿集, p. 41-42.
- 6) 村瀬智彦, 春日晃章 (2006) : 研究目的による体力測定参加に対する同意・不同意の判断に重要視される内容—男子大学生を対象として—, 教育医学, 52(1), 83.
- 7) 村瀬智彦, 春日晃章, 佐藤敏郎 (2007) : 体力測定参加の同意判断に重要視される内容と程度の差の検討—女子大学生が自覚する体力特性の違いによる比較—, 体育測定評価研究, 7, 61-62.